

令和5年度事業報告

自 令和5年(2023年)4月1日

至 令和6年(2024年)3月31日

令和5年4月20日開催の、理事会に於いて承認を得ました事業計画並びに事業活動方針に基づき実施した、主要の事業の概況について次の通り報告いたします。

公益社団法人 熊谷法人会

会 長 石 山 洋 一

1. 事業概況

『当会は、“税のオピニオンリーダー”として、地域への社会貢献を行い、広域的な交流と租税教育を通して、「元気な企業経営者」を力強くサポートし、2市1町の良き経営者を目指すものの団体である』を基本的指針とし、①税の啓発活動、②税制提言活動、③地域企業の経営支援活動、④地域社会貢献活動、⑤組織基盤の拡充、⑥財政基盤の確立を中心に事業活動を展開して参りました。

「税の啓発活動」のうち、租税教育活動では2市1町の小学校8校(349名の児童)を熊谷法人会青年部会・女性部会が担当となり、租税教室に熱心に取り組みました。

「税制提言活動」では、会員・役員へのアンケートを基に全国法人会総連合が取り纏めた「令和6年度税制改正に関する提言」を、地元選出の国会議員並びに熊谷市・深谷市・寄居町の行政の長に税制委員長が中心となり、「提言書」を手渡し致しました。

「地域企業の経営支援活動」においては、『新入社員・若手社員研修』、『パソコン研修』、『年末セミナー』等を開催、また、オンラインでは「はじめての経理実務」や「社会保険実務講座」、「インボイスに対応した決算整理・決算書作成」を開催、多くの会員企業の皆様にご参加頂きました。

「組織基盤の拡充」「財政基盤の確立」では、令和5年9月6日(水)に税務当局、税理士会、法人会役員との「三者懇談会」を開催後、組織委員会と厚生委員会合同の委員会を開催致しました。熊谷法人会との関係支援団体の皆様から多大なるご支援とご協力を仰ぎながら、会員が一丸となって組織・財政基盤の充実・強化に努めて参りましたが、会員数では2,456社と対前期末比▲18社、加入率においても▲1.1%となりました。減少の主な理由としては高齢化による事業の休廃業・縮小、経費の削減、メリット無し等々が主な退会理由となっております。

ここで、女性部会の中心的な事業「第9回税に関する絵はがきコンクール」では、2市1町の小学校53校全てに参加協力を頂き、児童2,609名(応募率91.5%)と埼玉県下15法人会の中でも上位の実績を維持しております。

青年部会では、主力事業の一つ、「健康経営P J」の宣言書獲得目標9企業に対し9企業を獲得し、目標達成致しました。

以下、それぞれの関係にてご説明をさせていただきます。

2. 総務関係

①法人会の財務基盤を支える会員数は、一時期の退会者の増加現象から、近年において純減幅は小さくなって来てはいるものの、休業・廃業等の理由から依然新規獲得以上に退会数が上回り、厳しい状況は続いております。なお、支出面においては、前年度同様に特別講演会、役員県外研修会、各種セミナー等の開催により公益目的事業費が大幅に支出増加となっております。加えて、各支部におけるイベントへの協賛金も増加、正味財産期末残高では、対前年度比▲9,286千円を計上するに至っています。

②企業の税務コンプライアンス向上を図るため、「自主点検チェックシート」の利用促進を役員会・理事会・各委員会・研修会の他、青年・女性部会の会議体において行いました。

③添付書類も含めたe-Taxの普及・定着については、各会議体を通じ周知の他、「完

全e-Taxのおすすめ」パンフを会報に掲載する等、対応を図って参りました。

- ④電子帳簿保存法について、令和6年1月1日からの適用に備え、「電子帳簿保存法のチェックポイント」と題した小冊子を全会員へ配布しました。

●令和5年度「会報同封小冊子タイトル」

配布月	タイトル
令和5年9月	令和5年分会社がもらえる助成金活用のポイント
11月	電子帳簿保存制度のチェックポイント
令和6年3月	そこが知りたい Q&A 令和6年定額減税のポイント

3. 組織関係

- ①当委員会では、9月から12月の期間に会員増強運動を行い、地元の金融機関・税理士会・提携生損保にも協力を呼び掛け、各支部において活発な会員勧奨活動を展開致しました。また、「役員一人1社会員獲得運動1000」による、声かけ運動を展開、役職員、関係者一体となり会員加入勧奨に取り組みました結果、埼玉縣信用金庫39会員、埼玉りそな銀行2会員、提携生損保6会員と、大変厳しい環境下ご健闘を頂きました。

なお、今年度は期末現在会員数2,456社と前期末比▲18社となり、結果、加入率は同期末比▲1.1%となりました。

- ②組織の拡充・強化のため、組織委員会・厚生委員会を合同委員会として、9月6日(水)に開催。32名の委員並びに提携生損保3社の幹部・推進委員の皆様が一堂に会し、令和5年度の「会員増強運動」及び「福利厚生制度推進」について、話し合いました。

- ③青年部会員につきましては、令和5年度定年による退部者が10名、入会者が6名で、最終的には、期末部会員数90名となりました。次年度においても、引き続き会員獲得を推進して参りたく。

- ④女性部会員は、期末部会員数414名と前年期末比20名減少致しました。

- ⑤会員の状況について

(1) 会員数等

(令和6年3月31日現在)

	本 会	青年部会員数	女性部会員数
所管法人数	5,767社	—	—
会 員 数	2,456社	90名	414名
加 入 率	42.6%	—	—

(2) 会員支部別状況

(令和6年3月31日現在)

項目	支部名									所管法人数
	熊谷	深谷	寄居	妻沼	岡部	川本	花園	豊里	合計	
期首会員数	1,163	532	241	179	116	97	91	55	2,474	5,662
所管法人数	2,838	1,374	482	336	246	178	202	111	5,767	—
期末会員数	1,164	520	238	177	116	95	91	55	2,456	5,767
増 減	1	△12	△3	△2	0	△2	0	0	△18	105
加入率(%)	41.0	37.8	49.4	52.7	47.2	53.4	45.0	49.5	42.6	—

(3) 会員状況の推移

(令和5年12月31日現在)

項目	年月									
	平26/12	平27/12	平28/12	平29/12	平30/12	令元/12	令2/12	令3/12	令4/12	令5/12
法 人 数	5,485	5,445	5,467	5,496	5,358	5,578	5,617	5,648	5,662	5,767
会 員 数	2,754	2,778	2,770	2,731	2,668	2,627	2,572	2,553	2,504	2,479
加入率(%)	50.2	51.0	51.0	49.7	50.2	47.1	45.8	45.2	44.2	43.0

⑥三者懇談会

令和5年9月6日(水)に、税務署、税理士会、当会による「三者懇談会」を29名参加の下、開催致しました。三者懇談会は、9月から12月末までの会員勸奨に対する推進運動について及びe-Tax利用推進について、ご支援をお願い致しました。また、税理士会の先生方より、多くの貴重なご意見をお伺いし、熊谷法人会会員増強に対しお力添えを頂いております。

4. 研修関係

研修委員会を9月1日(金)と令和6年3月12日(火)の2回開催。当日は、今後の研修会・セミナー・役員県外研修会について、活発な意見交換が実施されました。今後の研修事業について、研修参加者の増加をどう図っていくか、また、オンライン研修の活用について、検討されました。

(1) 研修会の開催

- ①令和5年度の研修会の開催状況は、下表の通りで、新型コロナウイルスの影響から抜けて、徐々に改善傾向が見られております。
- ②税務研修会として熊谷支部では、熊谷税務署山口統括官を講師にお迎えし開催。
9月21日(木) 場所：熊谷市商工会館 テーマ：「税のよもやま話」
- ④熊谷支部県外視察研修会実施 歴史と栗の街「小布施」と善光寺参拝
参加者：24名
- ⑤妻沼支部では、講師に河合 敦氏を迎え、公開講演会を開催。参加者：213名
12月9日(土) テーマ：新札の偉人たち～世界一面白い歴史の講演会～
他、会員親睦・交流会実施 「新橋演舞場・25名」
- ⑥「新入社員・若手社員研修」は各企業の要望があり、4月5・6日に延べ64名が参加、2部屋に分けて半日研修として開催。(熊谷商工会議所との共催) また、フォローアップセミナーは11/16、33名の参加者にて、2時間コースとして実施。
- ⑦令和5年度は経営特別セミナーとして、対面形式とオンラインで開催致しました。
《対面方式》
 - ・ 8/24 「知っておくと信頼される！営業担当者向け決算書&財務の基礎知識」
 - ・ 9月・10月・11月にパソコン研修を「エクセル 基礎・レベルアップ・ビジネス活用」を熊谷会場、深谷会場の計6回開催 講師：岩見 誠氏《オンライン開催》
 - ・ 7/13～8/9 「15時間でマスターするはじめての経理実務」
 - ・ 11/16～12/6 「基礎から学ぶ社会保険実務講座」
 - ・ 6. 3/14～4/3 インボイス制度に対応！「決算整理・決算書作成」
- ⑧年末調整セミナーは、関東信越税理士会熊谷支部の税理士の方々にご協力いただき、熊谷市・深谷市の2会場で開催。
 - ・ 11/6(月) 「年末調整セミナー」熊谷会場 参加者：48名
 - ・ 11/15(水) 「年末調整セミナー」深谷会場 参加者：45名
- ⑨税務相談会は、令和5年度予定通り7回開催。(参加者：延べ29名)
(講師：関東信越税理士会熊谷支部 安原 宣彦税理士)

(2) その他の研修活動

- ①無料のインターネットセミナー(オンデマンド研修)の利用も年々増加。アクセス数は当年度で7,879件、会員ログイン数は月100件を超過、関心度の高さの現れと思われまます。現在、700タイトル以上のセミナーが無料で受講出来ます。
- ②DVDの貸し出しは、社内研修・従業員の自己啓発等にご活用頂き、ビデオ・ライブラリーの充実から、令和5年度は69本の利用実績です。現在、324巻のDVDを備え、これらは管理者向け研修や新入社員研修等でも活用頂いております。
- ③高齢化社会に対応した年金セミナーを3月15日(金)熊谷市立商工会館にて開催。
在職老齢年金を主とした公的年金について、わかりやすく解説。

(3) 研修実施回数と参加者数

集合参加型研修の実施回数と参加者数

	本会事業		支部事業		部会事業		合計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
税法・税務	27回	333名	1回	213名	17回	272名	45回	818名
経済・金融	2回	97名	0回	0名	0回	0名	2回	97名
その他	8回	79名	1回	213名	17回	272名	26回	564名
合計	37回	509名	2回	426名	34回	544名	73回	1,479名

参考：実施回数・参加者数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数	85回	27回	31回	57回	73回
参加者数	2,378名	423名	423名	1,385名	1,479名

上記以外に「インターネットセミナー」として、令和5年度オンデマンド1,487件（内一般141件、会員1,346件）。また、オンライン研修3回実施、130名が参加。

5. 税制関係

(1) 税制改正要望活動

- ①令和6年度税制改正に関するアンケート調査集計を取り纏め、当会としての要望を全法連、県法連に提出致しました。特に、今回のアンケートでは「インボイスと消費税」をはじめ、「事業承継」に関するアンケート内容が多く取り上げられました。
- ②10月18日（水）には、法人会全国大会（群馬大会）が開催され、全国の法人会組織を挙げての税制改正提言が決議され、その提言事項を、当会地区選出国會議員2名と熊谷市・深谷市・寄居町の首長、また熊谷市議會議長に対し、全国法人会・当会会員の総意として提言いたしました。（参加者：税制委員長・事務局長）

(2) 税務行政関係

三者懇談会（税務署、税理士会、当会）を開催し、管内納税者協力団体として連携を図りました。三者懇談会は、当会の会員加入勧奨に対する増強運動、e-Tax利用率向上をお願いする場でもあります。

6. 社会貢献関係

(1) 税の啓発活動

- ①11月11日（土）～11月17日（金）の「税を考える週間」において、熊谷税務署坂主署長講師による租税教室として、「署長講演」を11月14日（火）に開催。（女性部会の事業）
- ②11月14日（火）の特別講演会は、以下の通り開催致しました。
場所：ホテルガーデンパレス 講師：三上 洋氏
テーマ：「ネット安全対策について」 参加者102名

(2) 社会貢献活動

- ①管内各支部内で催される、「ふるさとの祭典市」や「産業祭」等に、法人会支部役員と熊谷税務署幹部の皆様が共に参加、イベント用ジャンパーを着て、「啓蒙用チラシ」を配布、地域に密着した活動に積極的に取り組みました。
また社会貢献活動として、当年度は寄居支部女性部会主催による「復興チャリティコンサート」が開催され、今回は能登半島地震の被災者支援のため、募金239,364円を珠洲市へ義援金として送付しました。「おかベコスモス祭り」においては、岡部支部女性部会の皆さんが「ポップコーンの配布」を行い、有料配布分について、ふっかちゃん子ども福祉基金へ寄付するなど、社会貢献活動に寄与致しました。
- ②寄居支部では、「法人会員の集い」を開催致しました。
- ③豊里支部では、渋沢栄一記念館駐車場で行われた、青淵まつりへの協賛・参加。
参加者：18名 また、別途、青淵公園イルミネーションへの協賛、参加協力も行われました。参加者：延べ19名

- ④女性部会が中心となっていて行っている「エコキャップ回収事業」は、各支部の協力によりキャップの回収累計が2月末現在、3,627,235個となり、医療支援・社会貢献活動としてNPO法人エコキャップ推進協会へ寄贈させて頂いております。

7. 広報関係

広報委員会では、年間6回の編集会議を重ね、計6回奇数月に会報を発行。

(1) 広報誌「法人くまがや」の発行

広報誌「法人くまがや」	No.215号（令和5年5月号）～No.220号（令和6年3月号）
全国法人会総連合 機関紙「ほうじん」	年間4回発行「法人くまがや」と同封して送付

- ①内容も当局の税制改正の主要事項をはじめ、TAX・Q&A、県税事務所からのお知らせ等税に関する情報や、地元税理士による寄稿に加え各支部の活動状況や研修・行事等、旬な情報提供を頂きながら充実した内容に努めて参りました。
- ②「第8回税に関する絵はがきコンクール」入賞作品を、ポケットティッシュとして作成。法人会グッズとして租税教室等で配布しました。
- ③「会長訪問」も、引き続き各企業経営者の皆様のご協力の下、会長と代表者様との対談型式で原稿を取り纏めさせて頂きました。

8. 厚生関係

9月6日（水）に、組織委員会・厚生委員会合同会議を開催。福利厚生制度推進への協力体制、役員紹介運動、また、連携について話が進められました。

《福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン“Challenge100”推進について》

- ①大同生命は、法人会福利厚生制度、キャンペーンの必成に向けて「大型保障制度」を推進。「役員紹介運動」により、役員企業へ推進員訪問を実施した。

《大型保障制度》

○対象役員企業71社 加入役員48社 役員加入率67.6% 対目標▲2社

- ・青年部会委員には、「健康経営宣言書」の提出及び「ウォーキングキャンペーン」をセットに福利厚生制度を推進した。

《青年部会新規契約企業》

○目標6 実績12件 進行率200.0%

- ・女性部会員の加入率向上と新規制度加入を促した。

《女年部会新規契約企業》

○目標4 実績6社 進行率150.0%

- ②AIGは、ビジネスガードの役員加入率の向上、加入促進を図った。また、万一の備えの商品「真骨頂」の商品パンフレットを配布した。

- ③アフラックは、会員企業の従業員を対象に「転入促進」を積極的に推進。また、役員企業に対する加入率の向上、新契約保険料・転入保険料の新規加入企業獲得数の推進強化を図った。

- ④「成人病予防検診事業」について、令和5年度は3日間で48名が受診し、事務取扱手数料は123千円。次年度も、会報へのチラシ折込等、広報活動を積極的に行い、会員企業に受診機会を提供し、健康経営の一助となるようアナウンス致したく。

- ⑤熊谷総合病院の「PET-CT検診」について、会報への折込チラシを封入。継続して会員利用の促進を図って参ります。

以下に提携生損保会社の実績をご報告いたします。

経営者大型総合保障制度（大同生命保険株式会社）

大型総合保障制度加入状況			令和5年度 新規加入企業
項目	令和5年3月末	令和6年3月末	
会員数	2,474社	2,456社	目標17社
加入企業数	393社	397社	実績16社
加入率	15.9%	16.2%	達成率94.1%

ビジネスガード（AIG損害保険株式会社）

項目	令和5年3月末	目標	実績	目標達成率	令和6年3月末
加入企業数	203社	216社	234社	108.33%	234社
加入率	8.20%	—	—	—	9.50%

がん保険（アメリカンファミリー生命保険会社）

項目	令和5年3月末	目標	実績	目標達成率	令和6年3月末
加入企業数	432社	—	—	—	414社
加入件数	1,261件	—	—	—	1,158件
加入率	17.5%	—	—	—	16.9%

9. 青年部会

- ①「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を浸透・普及させるため、青年部会では一昨年度より活動に取り組んでいる「健康経営宣言書」の登録について、山口青年部会長を中心に大同生命保険㈱と連携して対応。結果、「健康経営宣言書」提出企業9社県連目標に対し、9社と獲得目標達成（100%）となった。
- ②青年部会・女性部会の共同事業として、「租税教室」を下記の通り実施致しました。
- 令和5年度「租税教室」実施校

開催日	学校名	開始時間	終了時間	児童数
5.6.9（金）	熊谷市立秦小学校	10:35	11:20	19名
5.6.16（金）	寄居町立男衾小学校	14:45	15:30	71名
5.6.20（火）	深谷市立川本北小学校	9:35	10:20	68名
5.6.23（金）	深谷市立岡部西小学校	13:45	14:30	42名
5.6.29（木）	熊谷市立玉井小学校	9:40	10:25	69名
5.7.3（月）	寄居町立折原小学校	13:50	14:35	10名
5.7.6（木）	寄居町立用土小学校	9:30	10:15	30名
6.1.19（金）	寄居町立寄居小学校	13:45	14:30	40名
合計	8校	—	—	349名

- ③会員増強運動では、青年部会役員が中心となり、期中に6名の若手経営者が入会。令和5年度は、定年により10名減であったため、青年部会員数は期末90名と、埼玉県連下でも多くの会員数を維持致しました。
- ④「りそなキッズマネーアカデミー」は、8月3日（木）に実施。埼玉りそな銀行熊谷支店において、小学校低学年の児童30名に山口部会長が租税教室を行いました。
- ⑤北部ブロック青年部会四法人会合同講演会に参加。（幹事：秩父法人会）参加者：8名
- ⑥青年部会「県外研修会」は、4年振りに実施。（2/20（火）～21（水））主に造幣局さいたま市局、東京国立博物館、東京証券取引所等を視察。会員相互の親睦や異業種交流も

図れ、有意義な県外視察研修会となりました。参加者：11名

- ⑦「垂統塾」への参加。2名参加し1名が終了。後日、埼玉県法人会連合会より修了書が直接本人へ郵送にて贈呈されました。
- ⑧全国青年の集い「山形大会」開催、当会からは6名が参加視聴致しました。
11/9（木）～11/10（金）
 - ・大会スローガン：「為せば成る！～感謝と恩返しの想いを胸に～」
 - ・活動の3本柱：「租税教育活動・部会員増強運動・財政健全化のための健康経営プロジェクト」の推進

10. 女性部会

- ①今年度、第9回目となる「税に関する絵はがきコンクール」を実施。熊谷市・深谷市・寄居町の各教育長様よりご支援・ご理解を頂き、本事業には熊谷市、深谷市、寄居町の小学6年生2,609名の児童に、参加頂きました。応募率も91.5%（昨年度85.9%）となり、12月12日（火）審査会に於いて、優秀作品33点を選考致しました。4年振りに「さくらめいと月のホール」で表彰式を実施、熊谷税務署坂主署長を始めとした12名のご来賓の方々に出席をいただき、受賞児童、ご父兄、総勢90名を超える盛大な表彰式となりました。
- ②会員同士の親睦と研修を図る目的から、今年度は恒例の1泊2日の役員県外視察研修として、長良川鶴飼見学をメインに実施致しました。
- ③11月11日（土）～17日（金）の「税を考える週間」では、青色申告会連合会・納税貯蓄組合連合会と当会にて租税教室を共同開催。熊谷税務署長を講師にお招きし「これからの社会に向けて」と題して、「租税教室」を開催致しました。
- ④「年末講演会」は12月14日（木）に4年振りに開催。講演会にはジャズボーカリストのマスミさんをお招きし、総勢30名が集いました。
- ⑤深谷支部では、健康セミナーにて「健康体操」を5回開催、好評をいただきました。
- ⑥全国女性フォーラム「愛媛大会」を開催。
会場：アイテム愛媛（愛媛国際貿易センター）
参加者：川野辺（前）部会長、西倉常任理事、事務局から磯村の計3名が参加。
キャッチフレーズ：[愛顔咲くマドンナたちの新時代～ともに拓こう媛の国から～]
- ⑦その他各支部において、実施された事業については、別紙をご参照下さい。